

広報

た
し
ろ

財政事情

まえがき

先に昭和38年度上半期分の財政事情を公表しましたが、今回は下半期分として、
本年度各会計の予算執行状況及び前年度決算の概要について説明いたします。

昭和38年度予算執行状況

昭和38年度各会計の予算執行状況は別表の通りとなつております。

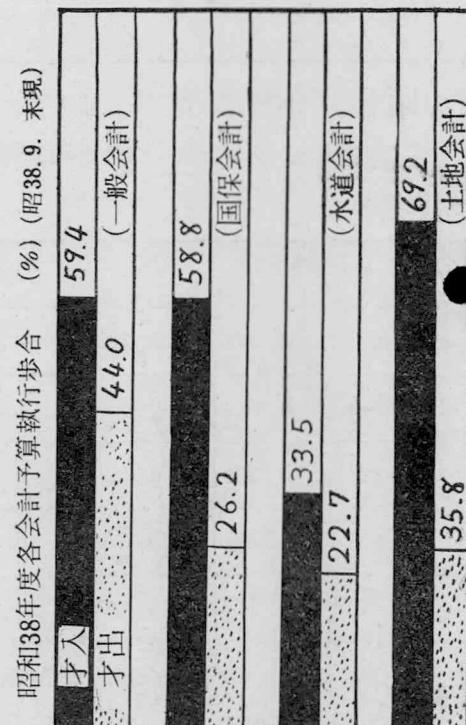
(別表第1) 昭和38年度予算執行状況 (昭38.9 末現)

会計別	予算現額	収入済額	支出済額	差引残額	執行率(%)	
					才入	才出
一般会計	千円 62,149	千円 36,934	千円 23,447	千円 13,487	59.4	44.0
国保会計	9,920	5,829	2,598	3,231	58.8	26.2
水道会計	3,135	1,051	713	338	33.5	22.7
土地改良会計	4,007	2,774	1,436	1,338	69.2	35.8
計	79,211	46,588	28,194	18,394	58.8	35.6

別表によると各会計共収支状況は良好で、一般会計において約1350万円、国保会計で323万円の残金となり、総額において1839万円の残金となっています。

次に各予算の執行歩合をみると、才入総額は58.8%才出総額は35.6%となっており会計年度の丁度中間に当る現在、才出の執行歩合は稍低いと云えます。これは各種の事業の財

(別表第2)



源となる国、県の補助金や町債が年度の後半にくるため事業の実施も殆んど今後になるために

の町財政は一応健全財政が維持されたと云うことになります。

以下一般会計と国保特別会計の概要について説明いたします。

一般会計

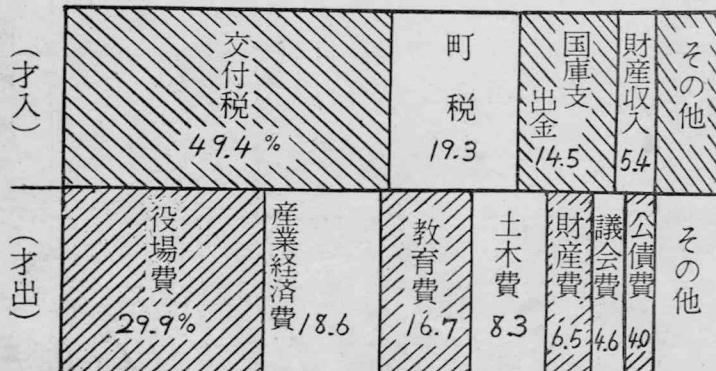
(別表第5) 昭和37年度一般会計決算状況 (千円)

科 目	入		出		
	決 算 額	比 率 %	科 目	決 算 額	比 率 %
町 税	12,111	19.3	議 会 費	2,758	4.6
地 方 交 付 税	30,959	49.4	役 場 費	17,957	29.9
財 産 収 入	3,413	5.4	消 防 費	1,222	2.0
使 用 料 手 数 料	963	1.5	土 木 費	5,010	8.3
國 県 支 出 金	9,078	14.5	教 育 費	10,056	16.7
繰 越 金	2,128	3.4	社 会 労 仇 費	1,993	3.3
町 債	1,000	1.6	保 健 衛 生 費	973	1.6
そ の 他	3,049	4.9	産 業 経 済 費	11,167	18.6
			財 産 費	3,879	6.5
			公 債 費	2,378	4.0
			そ の 他	2,661	4.5
計	62,701	100.0	計	60,054	100.0

一般会計の決算収支は約265万円の黒字となっているが、之を才入面からみると、地方交付税が才入総額の約半分を占めており、最も大切な財源である町税は20%以下で、財政面の依存性が大きいことを示しています。次に才出をみると役場費が約30%で最も大きく、産業経済費と

別表第6

37年度決算、才入才出別科目比率表



教育費が之についています。当年度実施された主な事業の中には、木橋の永久橋架替 2 橋 開拓道新設 1 線、その他南九州防災営農事業等が挙げられます。

又決算の財源区分及び才出科目別の比率をみると下表の通りとなっています。

次に当年度才入決算額の町税1317円についての町民の負担状況をみると下表の通りで、町民が直接負担する町民税と固定資産税の1人当の額は約1,200円でその他の負

ります。

次に一般会計の執行状況を示すと次表のとおりとなっていますが之によりましても前記のことばご了解願えるものと思います。

尚38年度一般会計予算現在額は6215万円となっていますが、尚今後の追加予算額を含めますと最終予算額は約6700万円程度と考えられます。

(別表第3) 一般会計予算執行状況 (昭38.9.末現)

科 目	入			出		
	予 算 額	收 入 濟 額	執 行 率	科 目	予 算 額	支 出 濟 額
町 税	11,636	6,517	56.0	議 会 費	3,197	1,602
地 方 交 付 税	34,006	25,872	76.0	役 場 費	19,036	8,531
財 産 収 入	3,453	569	16.4	土 木 費	3,377	1,081
使 用 料 手 数 料	1,013	480	47.4	教 育 費	11,593	3,681
國 県 支 出 金	5,286	278	5.4	社 会 労 仇 費	2,617	1,000
町 債	1,600	0	0	産 業 経 済 費	6,892	1,531
そ の 他	5,155	3,218	62.4	そ の 他	15,437	6,021
計	62,149	36,934	59.4	計	62,149	23,447

2、昭和37年度決算について

当年度各会計の決算状況は次表に示す通りとなっています。

(別表第4)

合 計 別	最 終 予 算 額 ④	才 入 決 算 額 ⑤	才 出 決 算 額 ⑥	差 引 残 ⑦ = ⑤ - ⑥	⑧ の 内 前 年 度 緑 越 額 (E)	差 引 当 年 度 収 支 (F)	⑨	⑩
							⑪	⑫
一般会計	61,354	62,701	60,054	2,647	2,128	519	102.2	97.9
国保会計	8,674	10,366	7,809	2,557	1,558	999	119.5	90.0
土地改良会計	3,374	4,221	3,270	951	1,179	△ 228	125.1	96.9
水道会計	1,375	1,372	1,368	4	15	△ 9	99.8	99.5
計	74,777	78,660	72,501	6,159	4,880	1,281	105.2	96.9

上表によると当年度最終予算総額7478万円に対し、才入決算額は7866万円と予算額を超過し、才出決算額は7250万円で、差引616万円の残金を生じている。この残金の内には前年度から繰越された決算残金が、488万円あり、之を差引いた128万円が当年度の純繰越金となり、37年度

担が460円となっています。

(別表第7) 昭和37年度決算における町税負担状況

税目	調定額	収入済額	徴収率	比率	町民1人当負担
町民税	千円 2,003	千円 1,937	% 96、7	% 16、0	円 262
固定資産税	7,085	6,451	91、1	53、3	872
軽自動車税	346	295	85、3	2、4	40
たばこ消費税	2,183	2,183	100、0	18、0	295
電気ガス税	663	663	100、0	5、5	90
木材引取税	861	557	64、7	4、6	75
犬税	31	25	80、6	0、2	3
計	13,172	12,111	91、9	100、0	1,637

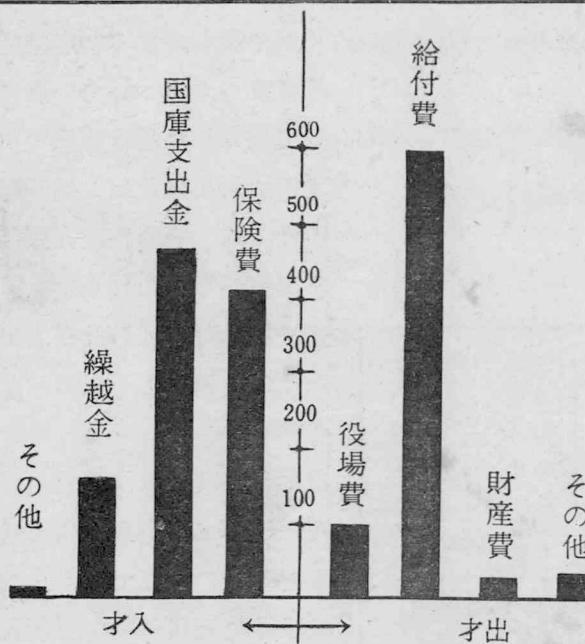
国保特別会計

国保特別会計の収支状況は前に述べました様に約256万円の繰越となっていますが、内156万円は前年度からの繰越額で差引当年度の黒字は約100万円となっています。これは下表によりわかるように国県支出金繰越金等の予想外の増収による外、才出の療養給付費が計画

内の支出でとどまつたためによります。

(別表第8) 昭和37年度国保会計決算

才	科 目	予算額	収入済額	収入歩合	比 率	才	科 目	予算額	支出済額	支出歩合	比 率
保険税		千円 4,179	千円 4,105	% 98、2	% 39、6	役場費		千円 1,149	千円 1,067	% 93、7	% 13、8
国庫支出金		3,691	4,626	125、3	44、6	保健給付費		6,443	6,046	93、8	77、4
繰越金		759	1,558	205、3	8、5	財産費		300	300	100、0	3、8
その他		45	77	171、1	7、3	その他		782	396	50、6	5、0
計		8,674	10,366	119、5	100、0	計		8,674	7,809	90、0	100、0



むすび

以上で下半期の町財政事情の説明を終りますが、要約すると町財政はその65%以上を国、県に依存しておりますが、このような状態の本で、実施を目前に控えた農業構造改善事業その他の大事業をどのようにして実施するかが、今後に残された町財政の重要な課題であると考えます。町民各位の全面的なご理解、ご協力を望むところであります。